

## 特定非営利活動法人ビラーンの医療と自立を支える会

## 1 事業の総括

- 1) 支援額で最大の事業である教育支援については、2019年度拡充されたフィリピン政府カレッジ奨学金に関する情報入手が遅れ、個々の学生について、当団体奨学金が必要かどうかの確認ができないまま支援を継続することになり、他の学生への支援拡大などの対応ができなかった。
- 2) 上記と関連するが、教育支援の主たるパートナーSCMSI 及び CMIP からの奨学生情報が前年度より少なく、特にコロナ問題発生の1月末以降は卒業延期他に関する連絡もないなど、例年になく現地情報が少ないなか年度末を迎えた。原因としては、CMIP の場合は、代表のディレクター（神父）交代があり、また、SCMSI の場合も学長や担当スタッフが例年以上に多忙と聞いていて、ネット通信では不十分と、3月末の現地出張、関係者を訪ねての情報入手、意向確認を予定したが、新型コロナ問題で渡航取りやめとなり、情報不足のまま2020年度に向けての支援活動に入らざるを得ない状況となっている。
- 3) 一方で、2019年度は、ルマド、あるいはIP と呼ばれるビラーンなどの先住民族およびモロ民族の事業地域について、それぞれの地域で活動している地域のリーダーたち、ビラーンのスヌーリアやボニファシオ、及び、モロ民族のナプサさんによって、そのニーズや支援の成果が随時伝えられ、2020年度当初のビラーン通信101号もこれらの小規模パートナーの現況報告により紙面の大半を割くことになった。先住民族による先住民族のための活動の支援という当団体の方向性からは、歓迎すべき事態ともいえる。
- 4) 当団体として2002年以降協働してきた PFP については、運営上の問題、特に、資金や人材不足、その原因とも聞いている理事長の不適切な組織運営等により、2019年度も委託したアグロフォレストリー評価活動は、予定の半分程度しか実施できず、その報告も十分ではなかった。このため、2020年度で終了を決めているブラクール支援は引き続き PFP と協働の予定であるが、環境保全事業等は2019年度をもって協働の終了を決めた。

## 2 各事業分野における活動報告

## 1) 保健・医療

## ① CMIP と協働の事業

奨学生（46名）や給食支援対象4小学校の児童対象の常備薬購入費として1万ペソ（約2.2万円）支援した。幸い2019年度も重篤なケース報告はなく、社会見学時等の応急手当て医薬品に充当された。

## ② PIHS と協働の事業

保健省や医療保険局承認の助産所運営2年目に取り上げた赤ちゃんは69名で前年のほぼ2倍であり、妊婦検診は214人と母子の命を守る助産所としてしっかり仕事をしてきた。

一方で、資金面での自立に関しては、プロバイダー2名の給与と医薬品（新生児検査キット他）充当分は当団体が支援したが、事務スタッフ給与他、光熱費、税金等納付金を含む経費の55%は自己資金で賄うなど前年度より自立度は高まった。また、医療保険加入推進事業（WE21 ジャパン21みどり助成）により、新たに40名が保険に加入し、次年度の保険診療収入増加、自主財源比率の増加に期待できる。

## 2) 教育・人材育成

## ① 初等教育支援

- \* ビラーン等貧困家庭の児童15名に、各年額約2,500円の奨学金支援(CMIP と協働)
- \* CMIP 運営の小学校（4校）児童約500人週3回の給食費補助として25万円支援（CMIP と協働）
- \* 住民組合立ブラクール小(約80名) 教師2名の給与相当分と給食費計25万円支援（PFP と協働）
- \* SCMSI 校運営支援（教師給与3名分給与相当）と里子2名校納金相当計120万円支援（SCMSI と協働）

## ② 中等教育支援：

- \* ハイスクール生23名に各年額1.4万円の奨学金支援。（CMIP と協働）



\* SCMSI ハイスクール里子 30 名の授業料他 (推定各年額 1.3 万円) 支援。(SCMSI と協働)

③ 高等教育支援:

\* カレッジ生 7 名各年額 6.6 万円奨学金支給。医大生奨学金 40 万円支給 (平賀奨学金) (CMIP と協働)

\* SCMSI カレッジ里子 5 名の授業料相当 (推定各年額 2.6 万円) 支援。SCMSI 校出身外部カレッジ生 9 名の奨学金支援 (各年額 4.8 万円)。(SCMSI と協働)

\* あしなが奨学金: 教育学部ロサリンに年額 5.3 万円、医療技師ジェイクの国家試験支援 (PFP 経由)

\* 前年度卒業の奨学生 2 名の国家試験支援で、チボリ民族の有資格看護師と医師誕生(SCMSI,CMIP 経由)

④ 看護師育成 JOFPA 基金奨学生:

看護師から助産師コース転科のモナリサに奨学金と国家試験経費を前倒しで計 18 万円支援 (PIHS 経由)

3) 農村開発及び環境保全の活動

① 農村開発事業: コロナダルの市のボルーラにおいて住民組織化とモデル農場事業を実施した。(TBA 経由)

② 環境保全事業: 三井物産環境基金で 2012 年に実施のキナマンガン、緑の募金で 2013 年実施のラムカニダンで評価事業を実施。キナマンガンではゴム樹液採取、収入向上も確認した。(PFP 経由)

4) 女性自立支援の活動

① COWHED 支援: 組合員の家族支援として SCMSI カレッジ 4 年生 1 名に奨学金を支給した。また、元マネージャー・ジェマさん経由で伝えられた突風による「伝統の家 (当団体支援)」の屋根損傷については、当団体への支援要請はなく、その後、トタン使用 (修復前の屋根材はコングラス) の修復済み写真を入手した。この事例からも 2002 年以降支援を継続した COWHED の当団体からの自立は 100%に近いと評価できる。また、参加イベントが少なかった当団体の COWHED 製品仕入れ実績は約 33,000 円と少額だった。

② ビラーンの伝統織ナバルタビ事業: 前年に続き、ポロモロック町アムグオの伝統工芸継承住民組織に対し、アバカ苗木約 1 万円分を PFP を通じて支援した。アムグオでは伝統織振興ネットワークを通じて、マニラ他国内市場向け販売ルートがあることがわかり、当団体としては織等の製品購入支援は実施しなかった。

5) 広報・啓発の活動 (国内の活動) と事務局運営

① ホームページ: 会報の公開、お知らせ欄更新などを担当の高山理事を中心に進めた。

② 季刊「ビラーン通信」(97-100 号) は、99 号から従来の 6 ページを 4 ページに減らし各 300 部発行した。

③ NGO 関係フェスタ(あーすフェスタかながわ、かながわ市民活動フェア、WE フェスタ等)、バザー・フリマ(鎌倉・鎌ヶ谷・荻田等) など、大小計 9 回参加した。なお、「よこはま国際フェスタ」は台風で中止となり、3 月のイベントも新型コロナ問題で中止になるなど、売り上げ面だけでなく、広報の機会が例年より少なかった。製品在庫は十分あるが、年度の事業収入は約 3.5 万円と少なかった。

④ 事務局体制: 専従スタッフ 1 名・非専従 1 名 (ともに有給) で、支援会費を原資とする医療や教育支援事業、同じく支援会費や寄付を原資とする環境保全、農村開発事業実施にかかる事務作業を担当し、広報活動に関してはホームページ原案作成・会報の編集を担当した。なお、校正、イベント、さらに、現地訪問について数名のボランティアスタッフが事務局をサポート、各種事業の適正な実施に貢献いただいた。

注: CMIP (Catholic Mission to the Indigenous People, inc) 先住民族のためのカトリックミッション

COWHED(Cooperative of Women in Health & Development) 女性の健康と自立推進組合

PIHS(Pasasambao Integrated Health Service, Inc.) パササンバオ (連帯の意) 総合健康サービス

PFP(Partners for First Peoples Foundation,Inc) 先住民族のパートナー

SCMSI(Santa Cruz Mission School Inc.) サンタクルスミッション学校法人

TBA(Tud Bolul Association) タッド・ボルーラ住民組合

令和元年度(2019年度)活動計算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

特定非営利活動法人ピラーンの医療と自立を支える会

I 経常収益の部

単位:円

	科目	予算額	決算額	差異	摘要
経常収	受取会費(社員会費)	228,000	269,000	▲ 41,000	年6,000円 x 44口 他
	寄附・医療自立支援	420,000	480,500	▲ 60,500	年12000円 x 40口 他
	寄附・教育支援	4,200,000	3,854,600	345,400	チボリ支援218万、ブラクル、あしなが支援30万円、CMIP経由支援137万
	寄附・一般	2,000,000	2,936,076	▲ 936,076	助産所、ムジャ地区支援、地震被災地支援、クリスマスプレゼント等使途特定寄付及び一般寄付
	(受取寄附合計)	6,620,000	7,271,176	▲ 651,176	
	受取助成金	90,000	90,000	0	WE21ジャパンみどり支援金
	事業収益	80,000	35,873	44,127	ハンディクラフト事業収益
雑収入	1,000	6	994	三井住友銀行及びびゆうちょ銀行受け取り利息	
	経常収益計	7,019,000	7,666,055	▲ 647,055	

II 経常費用の部

	科目	予算額	決算額	差異	摘要	
事業費	医療・衛生事業費	960,000	1,189,638	▲ 229,638	PIHS:助産所(給与補助)94万。保険研修11.7万、ムジャ17.6万、CMIP奨学生医療 2.2万円	
	人材育成事業費	4,110,000	4,741,491	▲ 631,491	SCMSI(学校運営166、カレッジ奨学金39.3、他創立記念・Xマス5.5計210.8万) CMIP(医大他奨学金・国家試験168.5、給食25.5Xマス他計196.4万)PIHS(助産師奨学金・国家試験計24.7万) PFP及びTBA経由(ブラクル・あしなが35.4万)被災ブルル小支援2回目12.8万円	
	農村開発事業費	86,000	142,621	▲ 56,621	ホールモデル農場事業	
	環境保全事業費	220,000	261,006	▲ 41,006	PFP委託アグロフォレストリ評価活動	
	女性自立事業費	105,000	73,453	31,547	ナハル死振興アムグオ継続支援(アバカ苗木他3.7万円)COWHED組合員支援(奨学金3.6万)	
	広報啓発事業費	100,000	67,000	33,000	アースフェスタ及び市民活動フェア参加費、HP更新謝礼。(よこはま国際協力フェスタは台風で中止)	
	予備事業費	100,000	112,434	▲ 12,434	ミンダナオ地震被災地支援のうち、PIHS経由及びブルルサロ支援の1回目は緊急支援として予備費に計上	
	事業費計	5,681,000	6,587,643	▲ 906,643		
	管理費	人件費	500,000	322,050	177,950	専従スタッフ、非専従スタッフ各1名
		通信費	180,000	179,806	194	NTT、会報発送切手代ほか
旅費・交通費		180,000	119,944	60,056	ボランティアスタッフ2名交通費(10万円)、事務局非専従スタッフ交通費他	
印刷・出版費		60,000	41,360	18,640	会報97号6ページ、98-100号各4ページ全4回発行印刷代	
会費・会議費		55,000	47,437	7,563	日比NGOネット(JPN)1万、横浜NGOネット(YNN)5千円、JANIC3万円他	
手数料		10,000	13,214	▲ 3,214	海外送金手数料ほか(ブルルサロ小支援は、個人口座経由で海外送金2000円x2回)含む	
消耗品費		25,000	69,924	▲ 44,924	インク代、印刷用紙、封筒、領収書用紙、新パソコンへのデータ移行代	
事務局賃借料		120,000	120,000	0	事務局賃借料	
保険料		15,000	3,964	11,036	労災保険(専従、非専従各1名分)	
管理費計	1,145,000	917,699	227,301			
	経常経費計	6,826,000	7,505,342	▲ 679,342		
	令和1年度末正味財産	193,000	160,713			
	H31年度繰越正味財産	1,338,768	1,338,768			
	令和1年度末正味財産	1,531,768	1,499,481		JOFPA基金残額82,905円を含む。	

令和元年度貸借対照表

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人 ビラールの医療と自立を支える会

科 目	金 額
I 資産の部	
I 流動資産	
現金預金	1,499,481
流動資産合計	1,499,481
2 固定資産	
固定資産合計	0
資産合計	1,499,481
II 負債の部	
1 流動負債	
前受け金	0
流動負債合計	0
2 固定負債	
固定負債合計	0
負債合計	0
III 正味財産の部	
正味財産	
前期繰越正味財産額	1,338,768
当期正味財産増加額	160,713
正味財産計	1,499,481
負債及び正味財産合計	1,499,481

令和元年度財産目録

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人 ビラールの医療と自立を支える会

科 目	金 額
I 資産の部	
I 流動資産	
現金預金	
現金手許有高	35,900
普通預金 三菱東京UFJ銀行青葉台駅前支店	1,914
三井住友銀行青葉台支店	1,034,708
ゆうちょ銀行	418,230
郵便振替口座	8,729
流動資産合計	1,499,481
2 固定資産	
固定資産合計	0
資産合計	1,499,481
II 負債の部	
1 流動負債	
助成金前受金	0
流動負債合計	0
2 固定負債	
固定負債合計	0
負債合計	0
正味財産	1,499,481